

民報 ゆうばり

1 市 4 町 トラックキャラバンで街頭宣伝!

安倍 9 条改憲 NO! 3000 万人署名を訴える!



戦争する国づくりを進める安倍内閣は退陣! 憲法9条の改悪をさせない!

11月27日、「市民と野党の共闘をすすめる1市4町の会」が主催し、今回で4回目になるトラックキャラバンは、南清水沢ニコット前で、1市4町の会のメンバーによる街頭宣伝を

行いました。この日、近隣の栗山町・由仁町・長沼町からも参加して、20名を超えるキャラバン隊が、初冬の夕張で訴えました。立憲民主党を代表して千葉清美栗山町議が「今国会で、論議されている入管法改正案は、十分な審議が尽くされていない。野党は外国人技能実習生制度も含めた抜本的な見直しを求め、徹底抗戦するつもりだ」と訴えました。

また、日本共産党を代表して、藪田亭長沼町議が挨拶し「政府は、海上自衛隊のヘリコプター搭載型護衛艦『いずも』の改修を念頭に、『多用途運用母艦』の保有をする方針を固めた。私たちは、戦争する国づくりをすすめる安倍内閣を一刻も早く退陣へ追い込

住民の苦難あるところ、日本共産党あり!

道後援会総会・学習会開催 =50万人後援会員めざして=

11月23日、北海道後援会総会と学習会が、札幌・ちえりあで開催されました。

冒頭、猪狩久一世話人代表が「全道で50万人の後援会員をめざして、来年の一斉地方選挙と参議院選挙で勝利しましょう」と呼びかけました。

道議選候補と札幌市議選の候補者が壇上に上がり、代表して、菊地よう子道議が決意表明をしました。

次に、参議院選挙区予定候補の畠山和也さんが、「住民の苦難あるところ共産党あり。今回の胆振東部地震で、被災地では共産党の市議・町議が被災者を訪問し励ましている。来年の参議院選挙では、被災者の声を道民の声を国会へ届けるために、全力で奮闘したい」と決意を述べました。



藤野保史衆議院議員が、国会の合間を縫って来道し「ともに衆議院で、仕事をともにした盟友・畠山和也さんを再び国会へ送っていただくよう、みなさん力を貸してください」と400名を超える参加者に訴え、大きな声援の中、閉会しました。

市民と野党の共闘で 自民党と補完勢力を半数以下に追い込もう!

憲 NO! 全国 3 千万からは、中村由紀男さ

むことが重要だ」と訴えました。地元夕張の平和団体「明日の平和をつくりだす夕張の会」から熊谷泰昌さんが挨拶し「安倍9条改

「個人の尊重と平和を守る長沼の会」か

人が、「先日、韓国へ行ってきました。韓国では、ロウソク革命でパククネ大統領を退陣へ追い込みました。日本も、市民と野党の共闘で、安倍政権を退陣へ追い込みましょう」と訴えました。



夕張音楽協会 創立60周年記念演奏会 第29回市民音楽の夕べ開催

11月10日、夕張音楽協会は創立60周年を迎え、記念演奏会第29回「市民音楽の夕べ」をホテルシユーパロで開催しました。

今回のプログラムは、レコード愛好会のDVDビデオ鑑賞のセレナード第13番ト短調K.525(モーツァルト作曲)演奏・ウイーン・フィルハーモニー管弦楽団、指揮：ダニエル・バレンボイムから始まりました。

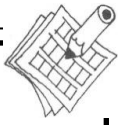
次に女声合唱コーラル・リラによる♪春なのに♪いい日旅立ち♪こころたびの3曲が演奏され、同じく女声合唱コーラル・ポピーが♪Jupiter♪の♪おくりもの3曲を披露しました。

休憩後、特別出演として、松平和也サクソフォン独奏♪Fantaisie、



平田隆男テノール独唱♪朝の歌 他が披露されました。混声合唱リンドンコールは混声合唱のためメドレー♪合唱でオペラ・アリアを会場いっぱいにかせ、市民吹奏楽団は♪美空ひばりメドレー♪追憶のテーマを演奏しました。

記念演奏は合唱と吹奏楽で♪花は咲く♪「嵐」のふるさと♪の2曲を披露し、夕べは終了しました。



くずさんの 夕張歴史散歩 (101)

明治維新 18 / 朝鮮干渉 ②

植民地化の末に

朝鮮に対しては日清・日露戦争の後も干渉はつづき、一九一〇年(明治43年)八月、韓国併合によって完全に植民地化します。さらに創氏改名を強要され名前さえも日本名に替えさせられました。

植民地にした韓国からは、多くの朝鮮人労働者が拉致され、強制就労させられます。

夕張炭鉱にも数多くの朝鮮人が、劣悪な労働を強いられました。

このように朝鮮に対する明治政府の姿勢は、夕張にとっても無関係ではなかったのです。

非道な干渉

この朝鮮に対する侵略的干渉の多くは、極めて謀略的で残虐でした。甲申事件・東学農民戦争、特に閔妃虐殺行為は目に余ります。

甲申事件

一八八四年(明治17年)十二月、朝鮮の近代化をめざした「金玉均」「朴泳考」らは、当時朝鮮国を支配していた閔氏一派を排除しようとクーデターを起こします。

漢城に駐屯していた清国軍が清仏戦争のため撤退したのをとらえ、日本公使の竹添進一郎らは「この機を逃すべからず」と、金玉均らをたき付け、計画を練ります。

王宮に放火する計画は失敗しますが、国王の拉致に成功、日本軍の力を借りて一挙に閔氏政権を倒します。しかし翌日、清国軍は要請を受け出動し戦闘になります。結果、国王は清国軍に保護され、クーデターは失敗に終わります。

そして竹添公使らは日本に逃げ帰り、金玉均は日本に亡命します。

このクーデターの失敗をみて落胆した福沢諭吉は、「脱亜論」を展開します。



紙智子「国会かけある記」
参議院議員

紙智子

企業利益優先の「漁業法改正案」

沿岸の漁業者の話聞いて、考えさせられたことがあります。定置網で「魚を取ろうとしたのに、ヨコワ(クロマグロの子供、30kg以下のもの)が大量に入ってしまう。逃がそうとして網を下げると、他の魚も逃がってしまう。ヨコワは、高速でビュンビュン、泳ぐ魚なので、網にかかるのと、ぶつかり合って傷つき弱ってしまい網から逃がしても死んでしまう。クロマグロが無駄になっている。それなのに北海道の漁獲枠はゼロ、獲ったら罰せられる」。クロマグロ漁の漁獲規制をめぐってこんなことが起こっています。

海の資源を守り、回復できるように努力が必要なのは言うまでもありませんが、資源管理の難しさが明らかになりました。クロマグロ漁の漁獲規制は国際的約束を守るためですが、なぜ、国が管理している大型船の漁獲枠の規制を強化しないのか。魚が獲れなければ沿岸漁業・家族漁業は成り立ちません。それでも休漁を迫るのであれば、しっかりと補償し、小規模な漁業者の生活が成り立つようにすべきです。

突然、衆議院本会議で「漁業法改正案」の審議が始まりました。政府・与党は、現場の漁業者の意見も聞かず、まともな資料も説明もないまま審議を強行しようとしています。

クロマグロの漁獲規制や外国人労働者の受け入れ拡大をすすめる入管法改正案と同じ構造です。「漁業の成長産業化」の名のもとに企業の利益を優先する。現場に混乱と対立をもたらすやり方は許されません。